

編集後記

刊行時期に遅れることなく、ここに本誌第3巻第2号をお届けできることを、編集委員の一人として慶んでおります。本誌の編集も、通算して5冊目ということもあって、大筋はかなり慣例化してきました。しかし、何も問題がないわけではありません。医療福祉学という新たな学問領域が学際的である以上、本誌もまた、学際的にならざるを得ないという宿命を背負っているからです。投稿論文の属する専門領域が様々であるということは、論文の形式、参考文献の扱い等が千差万別であることを意味しており、統一的な編集作業の大きな障害となっています。本誌を真に総合された首尾一貫した雑誌とするためには、今後なお一層の努力が必要でしょう。一日でも早く本誌を社会的にコンセンサスの得られる雑誌とするために、学会員諸氏にも御協力の程宜しくお願い致します。

第4巻第1号の編集は既に始まっています。Festina lente!

編集委員 安藤正人

川崎医療福祉学会誌、第3巻1号および2号(1993)の編集に当たりまして、編集委員の他に、次の方々のご協力をいただきました。紙面をお借りいたしまして、深く謝意を表します。

大谷 強 (川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科)

Maureen K. Griffin (川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科)

清水 雅子 (川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科)

武村 早苗 (川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科)

真野元四郎 (川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科)

深井小久子 (川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科)

木村 一彦 (川崎医療福祉大学 医療技術学部 健康体育学科)

軸屋 和明 (川崎医療短期大学 医用電子技術科)

松本 健志 (川崎医療短期大学 医用電子技術科)

小笠原康夫 (川崎医科大学 医用工学教室)

木村 昭洋 (川崎医科大学 医用工学教室)

Michael Pfeffer (川崎医科大学 医用工学教室)

(敬称略)

編集委員長 緒方正名